

# 毛穴の開き・角栓・黒ずみ対策「ターンオーバーの低下が根本原因」

毛穴の開き(目立ち)は大きく分けて、①鼻にできるタイプ(20-30代に多く:脂性肌が関係)②頬にできるタイプ(40-50代以上に多く:たるみに関係)があります。毛穴の角栓・黒ずみも含めた、何れの毛穴の開きの根本原因は、皮膚バリア(皮脂膜・角質層)の継続破壊によるターンオーバーの亢進(早くなる)。海の森化粧品は、従来の一時的に毛穴トラブルを目立たなくするスキンケアとは違い、壊れた皮膚バリアを修復するバリアケアで、ターンオーバーがスムーズになる皮膚環境を整えます。時間はかかっても、毛穴トラブルを繰り返さない肌へと導きます。

## ①皮脂腺の多いTゾーンの開き(特に鼻の毛穴)「20-30代に多く:脂性肌が原因」

脂性肌では、皮脂腺から分泌される皮脂に含まれる油滴(皮脂の原料となるあぶらのかたまり)の量が増加しています。油滴には、皮膚に微弱な刺激を与えるオレイン酸(遊離脂肪酸)が含まれており、油滴の増加に伴いオレイン酸が増加すると、オレイン酸の刺激によって、徐々に毛穴周囲のターンオーバーが早くなります。ターンオーバーが早い状態が続くと、本来垢として剥がれ落ちる未熟な角質が徐々に毛穴周囲に蓄積し、毛穴がすり鉢状になることで毛穴が開いて見えるようになります。また、キメが粗くなることで、より毛穴が開いて見えるようになります。

### ● 従来の脂性肌毛穴対策「一時的に毛穴を目立たなくさせる一方、継続使用は脂性肌悪化に」

ピーリング剤や洗顔剤(酵素洗顔)で皮膚表面に蓄積している古い角質を取り除く(正常な角質を取り除く場合あり)。アルコールや収斂剤で肌を引き締めたり、保湿化粧品で肌にうるおい・弾力・ハリを与えることで、キメを整えます。また、ベタツキを取るために洗顔剤を用いるケアが中心でした。何れも、使用後は毛穴が目立ちにくくなりますが、ターンオーバーが早い状態は解消されていないため、その効果は一時的。むしろ、配合の合成界面活性剤やアルコールなどの乳化剤が、毛穴内のアクネ菌を減少させ、油滴増加(脂性肌悪化)を招きます。そのため、継続使用はかえってターンオーバー早め、なかなか鼻の毛穴の開きが解消しません。

### ● 海の森化粧品「脂性肌を解消し、ターンオーバーで毛穴が目立ちにくい肌へ」

まず、含有するタンパク分解酵素が、毛穴周囲の厚くなった角質や角栓中の角質を取り除きます(正常な角質は取りません)。そして、含有する脂肪分解酵素およびリノール酸(油分)が油滴を薄めることで、ベタツキを軽減します。合成界面活性剤やアルコールなどの乳化剤不使用のため、毛穴内のアクネ菌を取り過ぎないことがポイントです。アクネ菌が毛穴内に適量保たれることで、肌自らの力で油滴を皮脂に変えていくため、脂性肌解消へ向かいます。結果、オレイン酸による刺激が軽減されるにつれ、元のターンオーバーサイクルになっていくため、多少時間はかかっても脂性肌による毛穴の開きの軽減・解消につながります。

### ※毛穴の開きと石鹸

オリーブオイル(オリーブ石鹸)、椿オイル、牛脂にはオレイン酸が多く含まれています。継続使用は、オレイン酸の刺激によって、徐々に毛穴周囲のターンオーバーを早める原因となるため、毛穴の開きが気になる方は、できるだけ使用を控えます。

## ②たるみによる毛穴の開き (40-50代以上に多く、特に頬などに見られる縦長に開く毛穴)

たるみは、真皮のコラーゲン・エラスチンが加齢によって減少したり、長年にわたって浴び続けた(真皮に侵入し続けた)紫外線(UV-A)によって変性することで、肌のハリや弾力が失われたとき。表情筋の衰えなどが原因で起こります。また、これに追い打ちをかけるのが、洗顔剤・クレンジング剤、保湿化粧品、日焼け止めなどの継続使用。配合の合成界面活性剤やアルコールによって皮膚バリアを壊し続けると、ターンオーバーが早くなり①本来垢として剥がれ落ちる未熟な角質が徐々に毛穴周囲に蓄積し、毛穴がすり鉢状になる②キメが粗くなることで、よりたるみ毛穴が目立つようになります。さらに、UV-Aは表皮に存在するメラニンによって真皮への侵入を防いでいるため、特に美白化粧品の使用によってメラニンが減少している方の肌では、たるみ毛穴が起こりやすくなります。

### ● 従来のたるみ毛穴対策「一時的に毛穴を目立たなくさせる一方、継続使用はたるみの悪化に」

化粧水や保湿化粧品を用いて、主にコラーゲン・ヒアルロン酸などの保湿剤を補給することで、うるおいやハリ・弾力を与えます。使用後は、毛穴が目立ちにくくなる一方、たるみ毛穴の原因(ターンオーバーが早いまま、メラニンが減少し紫外線が侵入し続けているなど)はそのままのためその効果は一時的。むしろ、継続使用はかえってたるみ毛穴の悪化につながりやすくなります。

### ● 海の森化粧品「乾燥解消・メラニンを適度に残す」

含有するリノール酸(天然タイプ1セラミド)が、壊れた皮膚バリアを修復することで、ターンオーバーが機能する皮膚環境を整えます。乳化剤不使用で含有する油分も微量のため、バリアを壊したり、ターンオーバーを妨げる心配はありません。多少時間はかかっても、ターンオーバーが機能するにつれ、毛穴のすり鉢状態が解消し、キメも整っていきます。また、皮膚バリアが維持されることで、紫外線(UV-B)の皮膚内部への侵入が軽減し、過剰なメラニン生成が抑えられるため、シミ対策としての美白化粧品の必要がなくなります。結果、メラニンが適度に残ることで、UV-Aの真皮への侵入を軽減し、たるみ毛穴の悪化をサポートします。

## ③毛穴の角栓・黒ずみ

なかなか解消できない小鼻・眉毛の間・顎にできやすい角栓・黒ずみ毛穴は、皮膚バリアが壊れターンオーバーが早くなった結果、角質が厚くなって狭まった毛穴に、皮脂や剥がれ落ちた角質が混ざることによって角栓が形成され、この角栓が毛穴を塞ぎ、毛穴の奥から生えてくる産毛が角栓の中に混ざることによって黒ずみ起こります。毛穴の黒ずみの原因として、一般的に皮脂の酸化が挙げられますが、産毛が大きな原因です。

### ● 従来の角栓・黒ずみ対策「一時的に角栓を除去する一方、継続使用は角栓・黒ずみの悪化に」

主に毛穴パックやピーリング剤、洗顔剤(酵素洗顔)を用いて、角栓を取るケアが中心でした。使用後は、産毛を含んだ角栓が除去されるため、黒ずみも目立ちにくくなりますが、ターンオーバーは早くなったままで、角栓ができやすい毛穴環境はそのままです。むしろ、配合の合成界面活性剤やアルコールなどの乳化剤、ピーリング剤などが、皮膚バリアを壊し(正常な角質も取り除き)、よりターンオーバーを早めるため、継続使用はかえって産毛が混ざった角栓の増加につながりやすく、毛穴の角栓・黒ずみがなかなか改善しません。

### ● 海の森化粧品「角栓・黒ずみを繰り返さない肌へ」

含有するタンパク分解酵素が、毛穴周囲の厚くなった角質や角栓中の角質を取り除くことで(正常な角質は取りません)、またリノール酸(天然タイプ1セラミド)が壊れた皮膚バリアを修復することで、ターンオーバーが正常に機能する皮膚環境を整えます。乳化剤不使用のため、バリアを壊したり、ターンオーバーを妨げる心配はありません。多少時間はかかりますが、ターンオーバーが機能するにつれ、角栓ができにくくなり、毛穴の角栓・黒ずみを繰り返さないようサポートします。